

JPI包装人材育成コース

第52回包装基礎コース

包装の全分野における体系的短期間入門及び実践講座

開催日：2019年5月15日(水)・16日(木)・17日(金)
22日(水)・23日(木) 全5日間

受講対象：入社3年目～新たに包装分野に携われる方
主催：公益社団法人日本包装技術協会

ご受講のご案内

包装基礎コースは、当協会における教育活動の一環として位置付けられ、各社の社員教育、また管理職の方々の体系付け等に利用されております。更に包装管理士講座の前段としての意味から、組み合わせて受講される方も多くなっております。50年にわたり継続しております事は、当コースが会員会社はもとより、関係各位から教育の一環として認められ、利用されてきた事に他なりません。従来同様、包装の基礎知識から昨今の諸問題に至るまで全般を体系化したプログラムを編成しておりますので、この機会に多くの方々が興味を持ってご参加くださいますようご案内申し上げます。

開催要領

日時 2019年5月15日(水)・16日(木)・17日(金)・22日(水)・23日(木) 全5日間

会場 公益社団法人日本包装技術協会 A会議室(案内図参照)
東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10階

定員 70名(先着順受付、定員になり次第締め切ります)

受講料 JPI会員：62,640円(消費税・テキスト代含む)
一般：76,680円(消費税・テキスト代含む)

受講対象

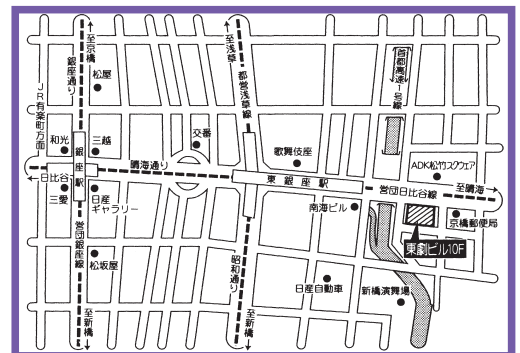
本コースは包装や物流に関する専門知識の普及を目的として開講します

- 基礎知識をさらに深め、体系づけたい方
- 包装設計を担当される方
- 商品企画・開発に携わられている方
- 近年中に『包装管理士講座』を受講される方

お申込み方法

1. 本紙申込書に必要事項を全て記入の上、FAX(03-3543-8970)にてお申込み下さい。
協会ホームページからのお申し込みも出来ます。
協会HP:<http://www.jpi.or.jp>
2. 申し込まれた方には後日受講証と受講料請求書をお送りします。
受講料請求書記載銀行へ開催前日までに銀行振込にてお支払い下さい。
3. テキスト(資料)は会場でお渡しします。
受講者以外にはテキストをお分けすることは出来ません。
4. 開催1週間前からの受講料の払い戻しは致しません。申し込まれた方が都合の悪い場合、代理の方の出席は差し支えありません。

会場案内図



地下鉄日比谷線・東銀座駅下車 6番出口より徒歩1分
都営地下鉄浅草線・東銀座駅下車 6番出口より徒歩2分

お問合せ並びにお申込み先

公益社団法人日本包装技術協会

包装基礎コース係 担当：佐藤

〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10階

TEL. 03-3543-1189/FAX. 03-3543-8970

e-mail:satou@jpi.or.jp

協会ホームページ:<http://www.jpi.or.jp>

*受講申込者には必ず受講証・受講料請求書をお送りします。お申し込み後、1週間以上たってもお手元に届かない場合には、当会までお問合せ下さい。

◆ 個人情報の取り扱いについて ◆

1. 個人情報は「第52回包装基礎コース」の事業実施に関わる資料等の作成、並びに当会が主催・実施する各事業におけるサービスの提供や事業のご案内等のために利用させていただきます。なお、作成資料は、開催当日、関係者に限り配布する場合があります。
2. 受講申込みにより、ご提供いただいた個人情報は、法令に基づく場合などを除き、第三者に開示、提供することはありません。

第52回包装基礎コース

日程と主な内容

第1日目 5月15日(水)

10:00～11:50

『包装概論と包装技法』

1. 包装産業の規模
2. 包装の定義と種類
3. 包装の役割と包装設計
4. 包装形態の種類と用途
5. 包装技法(中味の保護)
6. 機能性包装(事例紹介)

講師

大日本印刷(株) 包装事業部
イノベティブ・パッケージングセンター
製品開発本部 製品開発第1部第1課 課長
多久島 和弘 氏

13:00～14:40

『【包装材料1】板紙・紙器』

1. 紙器用板紙
 - (1) 紙とは
 - (2) 紙の分類
 - (3) 板紙とは
 - (4) 板紙の分類
 - (5) 寸法と坪量
 - (6) 紙の特性
2. 紙器
 - (1) 紙器とは
 - (2) 紙器の設計
 - (3) 紙器の製造

講師

(株)クラウン・パッケージ
社長付 広報室 室長
テクニカルマネージャー
(包装専士) 八木野 徹 氏

14:50～16:30

『【包装材料2】プラスチックフィルム』

1. 包装の基本的はたらき
2. プラスチックフィルムについて
3. 主なフィルムの製造方法
4. フィルムの種類と特徴
 - (1) 基材フィルム
 - (2) シーラントフィルム
5. 包装用フィルムの加工
 - (1) 印刷
 - (2) ラミネーション
 - (3) 製袋および充填
6. フィルムを使用した主な包装形態
 - (1) 用途と要求性能
 - (2) 構成事例
7. 規格及び法規

講師

ユニチカ(株) フィルム事業部
包装フィルム営業部
(包装管理士) 菊川 豊茂 氏

* 16:30～16:50 ケーススタディ課題の説明 JPI 事務局

第2日目 5月16日(木)

10:00～11:50

『【包装材料3】ガラスびんと金属缶及び プラスチック容器』

ガラスびん・金属缶・プラスチック容器の歴史、
材料の特徴、欠点と利点、用途と製造方法、環境
対応など

1. はじめに
 - (1) 容器とは
 - (2) 容器に求められる機能・役割
 - (3) 容器の歴史
2. ガラスびん
 - (1) 材料の特徴
 - (2) 利点と欠点
 - (3) 用途と製造方法
 - (4) 環境対応
3. 金属缶
 - (1) 材料の特徴
 - (2) 利点と欠点
 - (3) 用途と製造方法
 - (4) 環境対応
4. プラスチック容器
 - (1) 材料の特徴
 - (2) 利点と欠点
 - (3) 用途と製造方法
 - (4) 環境対応

講師

アサヒビール(株)
容器包装研究所 容器包装開発部
上席主任研究員
(包装専士) 篠永 正晃 氏

13:00～14:50

『防湿包装・ガス遮断包装(バリア包装)』

1. 包装とは
 - 1-1 包装の目的
 - 1-2 バリア性とは
 - 1-3 バリア材料
2. 各バリア材料と特徴
 - 2-1 プラスチック中の気体の透過
 - 2-2 バリア材料の歴史
 - 2-3 各バリア性材料の特徴
3. 防湿包装
 - 3-1 防湿包装とは
 - 3-2 透湿度とは
 - 3-3 透湿度の温湿度依存性
 - 3-4 包装内容品と水蒸気の関係
4. ガス遮断包装
 - 4-1 ガス遮断包装とは
 - 4-2 各プラスチックのガス透過度
 - 4-3 ガス遮断包装技法
 - 4-4 乾燥剤と脱酸素剤
 - 4-5 シェルフライフに影響を与える因子と対策(参考)
5. バリアフィルム等の動向

講師

藤森工業(株) 研究所
パッケージ開発グループ
主任研究員
(包装専士) 小野 松太郎 氏

15:00～16:50

『食品包装設計の基本』

1. はじめに
2. 食品包装の基本的な考え方
3. 食品包装設計の進め方
4. 品質保持包装の考え方と事例紹介
5. ユニバーサルデザイン包装の考え方と事例紹介
6. 環境対応包装の考え方と事例紹介
7. 包装設計と安全衛生
8. まとめ

講師

雪印メグミルク(株)
ミルクサイエンス研究所
技術開発研究室 主査
(包装管理士) 金野 直樹 氏

第3日目 5月17日(金)

10:00～11:50

【パッケージデザイン概論】

1. パッケージデザインの役割と機能
2. 商品コンセプトとデザイン
3. デザインの構成要素（構造、グラフィック）
4. パッケージデザイン制作の実際
5. デザイン評価と品質の向上

講師 凸版印刷(株)
トッパンアイデアセンター
商品企画部 課長
チームリーダー 山川 昌 氏

13:00～14:50

【医薬品包装の基礎】

1. はじめに
2. 医薬品包装の種類と特徴
3. 医薬品の包装設計と評価方法
4. 医薬品の包装設備とバリデーション
5. 医薬品への表示
6. 近年における医薬品包装への要望

講師 北里第一三共ワクチン(株)
研究開発本部 CMC 研究所
製剤プロセス研究グループ
(包装専士) 谷口 弘 氏

15:00～16:50

【包装材料4】段ボール

1. 紙の生産量（世界・日本）
2. 包装材料の中の段ボールの比率
3. 段ボールの種類
4. 段ボールが箱になるまで1（貼合）
5. 段ボールが箱になるまで2（印刷）
6. 段ボールが箱になるまで3（抜き・接合）
7. 段ボールの特徴（メリット）
8. 段ボールの基礎物性と強度
9. 包装試験の種類と方法
10. 段ボール箱の構造

講師 王子コンテナ(株)
営業本部 CS 推進部
包装技術 主任
(包装管理士) 中山 勝博 氏

第4日目 5月22日(水)

10:00～11:50

【輸送包装の実際】

1. 包装貨物の物流
2. 輸送・荷役・保管手段
3. 輸送環境
4. 包装貨物試験法
5. 輸送包装の役割
6. 輸送包装に関わる法規制
7. 輸送包装例

講師 三菱電機(株)
ロジスティクス部
専任
(包装専士) 武田 正臣 氏

13:00～14:50

【輸送包装設計】

1. 輸送包装設計の条件
 - ・製品強度の把握
 - ・流通過程の障害要因
 - ・落下衝撃と輸送振動
 - ・輸送環境の把握
2. 輸送包装設計の規格
 - ・輸送包装設計値への適用
 - ・包装貨物試験による評価
3. 輸送包装設計の種類
 - ・輸送包装の包装形態
 - ・輸送包装の使用材料
4. 輸送包装設計の技法
 - ・輸送包装設計の手順
 - ・緩衝包装設計の方法

講師 (株)石野製作所
専務取締役
(包装専士) 高橋 二郎 氏

15:00～16:50

【段ボール包装設計】

1. 段ボール包装設計の手順
 - ・包装設計のポイント
 - ・設計に必要な条件
2. 段ボールの寸法設計
 - ・寸法設計の原理
 - ・基本伸ばし寸法
 - ・積載効率
3. 段ボール箱の強度設計
 - ・求められる強度特性
 - ・段ボール箱の圧縮強さ
4. 段ボール箱の材質設定
 - ・材質選定方法
 - ・安全率について

講師 レンゴー(株)
包装技術部
東京包装技術第一課 担当課長
(包装専士) 牧内 隆文 氏

第5日目 5月23日(木)

10:00～17:00

ケーススタディー包装設計の考え方と手法－

演習課題をグループ討議することにより、個々の発想の相違を認識したり、包装設計のプロセスを体験することにより、包装設計を総合的に理解して頂くことを目的として実施します。予め提示された課題についてグループ別学習により、適正包装を模索してまいります。グループ討議では、異業種のメンバーの中で、各自の意見を発表し、また他人の意見を聞くことにより、普段の業務では得ることが出来ない経験や知識を吸収していただきます。

スケジュール

1. グループに分かれ課題を討議、発表資料の作成
2. 討議結果の発表・質疑応答
3. 講師による講評

* グループ討議は輸送包装・生活者包装とそれぞれのグループに分かれて行います。

【輸送包装課題選択グループ】 段ボールを主体とした輸送包装設計の考え方と手法について討議します。

【生活者包装課題選択グループ】 商品の個装・内装を中心とした包装の考え方と手法について討議します。

* 課題はテキストに掲載します。第5日目までにレポートにまとめ提出いただきます。

(当日のグループ討議に向けての予習を目的としております。万が一まとめることが出来ない場合でも、ケーススタディーへの参加は支障ありません。)

講師【輸送包装担当】

(株)トーモク 開発営業部
(包装専士) 土谷 恒 氏

講師【生活者包装担当】

雪印メグミルク(株)
ミルクサイエンス研究所
技術開発研究室 主査
(包装管理士) 金野 直樹 氏

包装基礎コースの特徴

- ① わが国唯一の包装人材養成のための体系的短期間入門コース
- ② わが国包装、流通界の権威者・専門コンサルタントによる充実した講師陣
- ③ 総合的、体系的、有機的に関連付けられたカリキュラム
- ④ ケーススタディによる体験学習の実施
- ⑤ 具体的な事例を取り上げた内容

* 包装管理業務に初めて従事される方にも総合的な包装の基礎を理解・把握して頂けます。



公益社団法人日本包装技術協会 各種研修活動のご案内

■人材育成コース

- ① 包装新人研修コース(4月開催)
入社1~2年目の新人を対象に初歩の一般的な包装基礎知識の習得を目指します。
- ② 包装基礎コース(5月開催)
入社3年目以降、または新たに包装分野に就かれる方を対象に、包装の全ての分野にわたり短期間習得を目指します。
- ③ 包装管理士講座(6月開催)
包装基礎コースの内容より一步踏み込んだ広義の専門知識の習得を目指します。一般講義、グループ討議、ケーススタディ等合宿を通して交流親睦を図ります。
- ④ 包装アカデミー(6月開催)
専門分野の深度化と高度化を目指します。輸送包装・食品包装・包装材料・医薬品包装の4コースを開講予定。

■専門別人材育成コース

- ⑤ フレキシブルパッケージコース(11月開催)
関連法令・包材の安全衛生・接着性等、柔軟材包装の知識について短期習得を目指します。
- ⑥ 食品包装コース(11月~3月開催)
食品包装に必要な知識と最新情報について月1回の頻度で計5回講義を行います。

⑦ 緩衝包装设计コース(1月開催)

緩衝包装の目的、力学基礎、設計技法を実際の緩衝設計プロセスに沿いながら解説します。

⑧ 段ボール包装设计コース(2月開催)

主に初心者を対象に段ボールの特性を学び、実習時に段ボール箱を作成します。

■時事テーマ別講演会

⑨ 化粧品包装セミナー(7月開催)

化粧品包装のデザイン、新技術、包材、化粧品業界の動向についてプログラム編成します。

⑩ 包装材料セミナー(1月開催)

新材材・開発事例・包装資材にまつわる問題や法律の説明、素材別マーケット動向について紹介します。

⑪ パッケージイノベーションセミナー(2月開催)

新しい包装の価値を創出するための情報の紹介を中心に、デザイン・販売戦略・分析情報・環境対応事例・UD・消費者へのPR等様々な分野からのテーマでプログラムを編成します。

⑫ 包装近未来シンポジウム(3月開催)

2020年に向けたグローバル戦略・サステナビリティ社会・包装新技術・変わる消費者の動向を探る事を目的として開催します。プログラム後半にパネルディスカッションを行います。

⑬ 医薬品包装セミナー(3月開催)

医薬品包装の法規、新技術、包材、医薬品業界の動向についてプログラムを編成します。

FAX.03(3543)8970 公益社団法人日本包装技術協会 担当:佐藤

NO.

第52回包装基礎コース受講申込書

会社名			TEL			
			FAX			
所在地	(〒)					
受講者	氏名			所属役職		
	e-mail			包装経験年数	年	ケーススタディ希望選択
	氏名			所属役職		
	e-mail			包装経験年数	年	ケーススタディ希望選択
	氏名			所属役職		
	e-mail			包装経験年数	年	ケーススタディ希望選択
	氏名			所属役職		
	e-mail			包装経験年数	年	ケーススタディ希望選択

* ケーススタディ選択希望はどちらかに○をつけて下さい。最終日グループ分けの参考にさせていただきます。(ご希望に添えない場合もありますのでご了承下さい。)